

産業廃棄物処理計画書

2022年7月20日

鹿児島市長 下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 鹿児島市西別府町3116-18

氏 名 株式会社センテイ

ケイエスプラント事業部

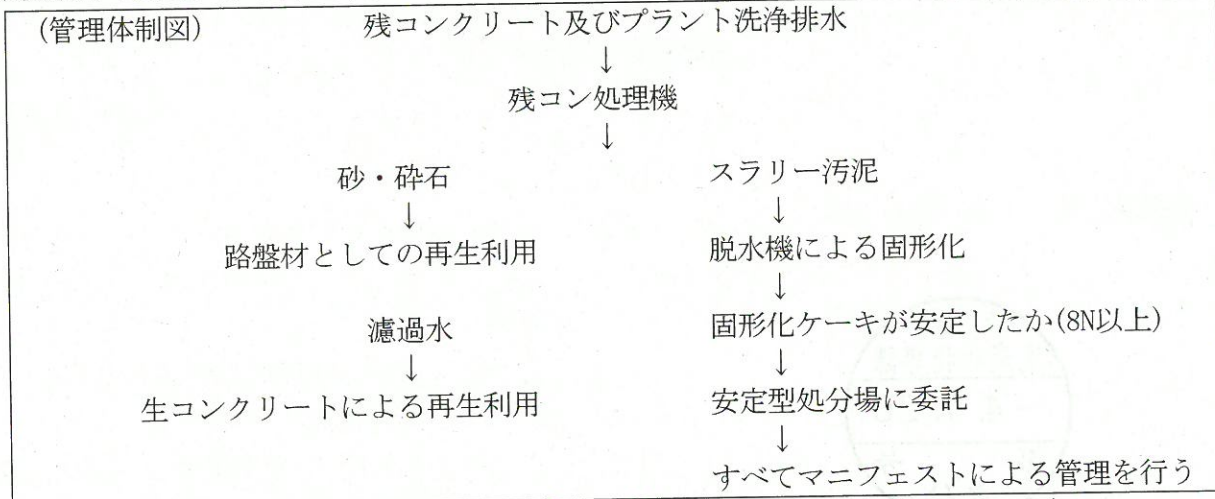
代表取締役 久場 眞三

電話番号 099-281-0990

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社センテイ ケイエスプラント事業部
事業場の所在地	鹿児島市西別府町3116-18
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	生コンクリート製造・販売
② 事業の規模	強制2軸ミキサー2機・330m <sup>3</sup> /H
② 従業員数	23名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	ミキサー車及びプラント洗浄排水及び残コンクリート→残コン処理機により分類→砂・砕石・スラリー→スラリーは脱水機により固形化・砂・砕石は再生処理→スラリー固形物は安定型処分場→中間処理にて再生利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度 ( 2021年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	排出量	4,424 t	t
	(これまでに実施した取組) 分級後の碎石・砂の100%再生利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	排出量	4,800 t	t
	(今後実施する予定の取組) プラント洗浄排水及びミキサー車の洗浄水の削減 業者になるべく残コンが発生しないよう協力依頼を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 残コン及びプラント洗浄水・工場排水
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 残コン及びプラント洗浄水及び工場排水の低減

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状	【前年度（ 2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,610 t	
	(これまでに実施した取組) 再生材としての再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,500 t	
	(今後実施する予定の取組) 残コンの削減 工場廃水の削減		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状	【前年度（ 2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 路盤材としての再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	15 t	t
	(今後実施する予定の取組) 残コンの削減 工場廃水の削減		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（ 2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,460 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 残コンの削減		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートの汚泥	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,400 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が種数ある場合この表を使用してください

(お願い:2種類までは計画書に記載することができますが、集計の都合上、なるべくこの表をご使用ください)

別添内訳書

数字(t)										
廃棄物の排出の抑制に関する事項	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラ・コン(※)	紙くず	汚泥	建設混合廃棄物(※)	廃油	合計
①現状(前年度実績) 排出量【A】					4,242					4,242
②計画(今年度目標) 排出量【B】					4,200					4,200
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状(前年度実績) 自ら再生利用を行った量【C】					2,610					2,610
②計画(今年度目標) 自ら再生利用を行う量【D】					2,500					2,500
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状(前年度実績) 自ら熱回収を行った量【E】										0
②計画(今年度目標) 自ら熱回収を行った量【G】										0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項										
①現状(前年度実績) 自ら埋立処分を行った量【I】										0
②計画(今年度目標) 自ら埋立処分を行う量【J】										0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状(前年度実績) 全処理委託量【K】										0
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量【L】										0
内訳 再生処理業者へ処理を委託した量【M】					1,460					1,460
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託した量【N】										0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【O】										0
②計画(今年度目標) 全処理委託量【P】										0
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量【Q】										0
内訳 再生利用業者へ委託する量【R】					1,400					1,400
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託する量【S】										0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【T】										0

※ガラ・コン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラ・コンの項目です)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。